

交流センターから様々なアクションが生まれています！

交流センターからつながろう！  
団体を紹介します！  
Get together 2025 始動！

池田市立市民活動交流センターだより

# しみから

【 SHIMIKATSU 】



## イベント・情報広場

池田市内で活動する団体のイベント情報をお知らせします

2024年11～2025年2月



### 季節の環りの日 クリスマスの季節を愉しむ一日

NPO法人のはなのうち

- ・日時: 2024年12月7日(土) 11:00~15:00
- ・会場: 池田市畑4-22-13
- ・内容: クリスマスの近づく季節の光を感じるひとときを。ライアーコンサート、蜜蝋ろうそくづくり。天然酵母パン、季節のスープ、やさしいおやつ、お母さんたちの手仕事の贈りもの用意しています。
- ・参加費: 無料 ※ライアーコンサート300円(1家族) 蜜蝋ろうそくづくり500円
- ・問合せ先: 090-5256-8660(小林) nonohana\_no\_ouchi@yahoo.co.jp



### ふらっと子どもフェス in 池田

ふらっと子どもフェス実行委員会  
(協力: ママの働き方応援隊大阪北摂校・一般社団法人未来キャンパスきみりる)

- ・日時: 2025年2月1日(土) 10:30~16:00
- ・場所: 池田市民文化会館 3F イベントスペース
- ・参加費: 無料(物販ブースは有料)
- ・内容: 子ども達のやってみたい! を応援。物販&体験ブース、ステージ発表、こども縁日、子どもスタッフ体験
- ・定員: 200名
- ・問合せ先: ふらっと子どもフェス実行委員会 furatto oyako123@gmail.com



### 多様な視点を分かち合う ソートストーム® 会

ソートストーム® 会

- ・日時: 2024年11月24日(日)/12月21日(土) / 2025年1月25日(土) 12:30~14:30
- ・場所: 市民活動交流センター 2階 小会議室
- ・参加費: 500円(ハーフティアー付き)
- ・内容: ソートストーム® という発見のためのグループワークです。参加者の意識がつながることで、多様な思考が嵐のように作用し合いながら方向を持ちはじめ、グループの全員が胸に落ちる答えが明らかになっていきます。
- ・問合せ先: 080-4249-3955(藤原)

### センターのとある一日



7/20~8/18の期間中、こどもボランティアのみなさんがセンターのお仕事体験に来てくれました。この取り組みは、夏休みを活用し小学生達が大人の見守りのもと社会体験を重ね、夏休みの思い出も作れる事業です。自転車整理や植栽の水やり、ガラス拭きや貸室・フリースペースの掃除など子ども達は暑いなか一生懸命がんばってくれました。フリースペースの利用マナー啓発ポスター作成にもチャレンジ! 交流センターにお立ち寄りの際はぜひご覧下さいね。「やってみて大へんだったけど、おしごとをしたらみんながきもちよくすごせるときいて、きもちがうれしくなりました」との感想も。こどもボランティアの皆様、本当にありがとうございました。(主催: 特定非営利活動法人 関西コミュニティ協会)

### 池田混声合唱団 団員募集

池田混声合唱団

- ・日時: 毎週木曜日 18時50分~20時50分
- ・会場: 主に中央公民館
- ・内容: グノー作曲「コラール・ミサ曲」(荘厳ミサ曲第4番)、昭和歌謡など練習。見学・入団随時受付、お気軽にお越しください。
- ・参加費: 月5,000円(学生2,500円)、入団費1,000円、楽譜代実費
- ・問合せ先: 072-761-8109(榎本)



### みんな笑顔で仲よし! 親子フェス

こいし・こども矯正歯科、ぐるっとママ大阪

- ・日時: 2024年12月26日(日) 11:00~17:00
- ・会場: 池田駅前てらてる広場
- ・内容: こどもが主役のお祭りです。こどもや親子で楽しんでいただけのステージイベント、ゲームや飲食物のブースをご用意しています。
- ・参加費: 無料
- ・定員: なし
- ・問合せ先: 0120-154-514(こいし・こども矯正歯科)



情報誌

## しみから

第3号(年3回発行)

発行所: 池田市立市民活動交流センター  
〒563-0050 池田市新町1-8  
TEL: 072-750-5133  
E-mail: info@ikedakoryu.jp  
発行日: 2024年11月10日



ホームページ



Facebook

情報誌しみかたは、年に3回発行、次回は3月発行予定です。

- ・メルマガジンを発行予定で団体のイベント情報や会員募集の他、助成情報などを配信いたします。
- ・メルマガの配信を御希望の方は info@ikedakoryu.jp まで氏名、所属団体名、電話番号、配信先メールアドレスをお知らせ下さい。

### 【情報誌、メルマガへの掲載を御希望の方】

- ・情報誌へのイベント等の掲載を希望される方は発行の1ヶ月前までに交流センターへご相談ください。
- ・情報誌、メルマガへの掲載をご希望の方はinfo@ikedakoryu.jp まで、イベント名、主催、日時、場所、内容、参加費、申込み・問合せ先をお知らせください。

※公益性を認める市民の活動について掲載させていただきます



阪急電車「池田駅」下車 徒歩10分

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

## しみかつ ランチタイム

2024  
7/23  
火

ランチを持ち寄り一緒にごはんを食べながら、気軽に情報交換やミニ相談ができる「ランチタイム」。7月は夏休み期間中で来館の子どもたちでにぎやかな雰囲気。センター利用者さんやご近所の方が「ちょっと立ち寄りました」「SNSで告知を見て、ぜひ一緒におやつを食べたくて持ってきました」とご参加くださいました。池田駅前周辺で注目のスポットや活動のようす、各々の近況についてお話ししながら、あっという間に1時間が過ぎました。



2024  
8/31  
土



## もう怖くない！ 助成金申請講座

まずは、班ごとに参加者同士お互いの活動を知り合い、それぞれの活動の良い所を見つけ合う交流タイムからスタート！  
次にセンタースタッフより助成金の基本的なしくみや探し方、助成申請で押さえないポイントをお伝えしました。「新しい出会いをいただきありがたかった」との声も。最後に参加者自身で活動する背景や目的を振り返って班ごとに共有し、たとえ申請が採択されなくても無駄にせず団体の運営に活かす方法をお伝えしました。他団体の想いを知る事で自分自身の取り組みを客観的にとらえる機会にさせていただいたようです。



### ケースその① | 講座や交流会に参加してみた！



親子で学べるお金の学校  
大田 完司さん

他市で活動してきたけど、娘家族の近くに住まおうと池田に引っ越したのを機に、地元池田でも自分の活動を始めたいんです！何から始めたらいいですか？

積極的に講座や交流会に参加することで市内のさまざまな活動にふれ、交流センターの貸室を活用しながらイベント実施にチャレンジされています。センター事業への参加をきっかけに、連携先や活動の場を広げていただいています。



武田 いとさん

### ケースその② | 情報誌を見て、助成金申請にチャレンジしてみた！

池田駅前で行われた大型イベントをきっかけに、商店街の有志でまち活性化や子どもの体験をテーマにしたイベントにチャレンジする機会が増加。そんなとき、情報誌「しみかつ」の助成金申請の特集記事を見つけました。

センターへ助成申請の相談にお越しいただき、活動目的などについて、じっくりとお聴きし、考えを整理いただく機会にいただきました。申請書類と一緒にブラッシュアップし無事、採択されました。

# 交流センターから つながろう！

交流センターでは、これから活動を始めたい方やすでに活動をされている方への交流事業、講座、市民活動相談を通して、人と人、活動と活動をつなげるサポートやマッチングを行っています。特に私たちが大切にしているのは、学びや情報をお互いに共有する「参加」と「交流」の時間。一人ではなかなか解決しにくいことも、身近に行われている活動や実際に動き出している人の事例を聞き、想いを口にする事で、仲間が増え、新しいアイデアやモチベーションUPにつながることも！あなたもぜひ、講座や相談に足を運んでみませんか。

2024  
9/21  
土

## つながる会

市民活動をされている方、したいと考えている方、地域とつながりたい事業者の方などが悩みを持ち込んだり情報交換したりと気軽に交流できる「つながる会」。今回は金融、文化芸術、認知症やこども食堂、事業主の皆さんが参加。それぞれの活動分野は違っても、縦断的に共通の社会課題があることに気づく姿も。それぞれの活動に対し意見交換をしながら「なぜこの活動が必要なのか」を改めて見つめ直す時間となりました。



### 〈講座〉



## 『イケダを切り拓く人たち ～社会実験ってなに？～』

池田市にて官民連携で、地域と市民の力が発揮できるよう、みずからも楽しみながら取り組んでいる吉岡博充さん、神田智範さんをゲストに招き、仕掛ける側の想いを知るトークセッション形式の講座。「実験」という言葉があれば、なんにでもチャレンジできる！前向きでありながら関わる方々への信頼と感謝、応援の心を忘れない姿に多くの学びがありました。後半はゲストと参加者を交えてグループ交流会を実施。熱気に溢れた会場では、池田市内外で行われている活動をお互いに知り合う場となり新たなつながりが生まれました。



2024  
9/29  
日



### こんな ケースも！

## Grassroots Education

公立小学校をより楽しい学びの場にしたいと、新しい学びのあり方を広げている土田さんにお話を伺いました。



代表/土田 麻衣さん

### ● 学びって、もっと主体的で楽しいもののはず

—活動を始めたきっかけは？

子どもの公立小学校入学を機に「時代に合わせて社会が変化し続けているけれど、公立小学校の授業スタイルは私達の子どもの頃とあまり変わってないのでは？」と、考えるようになりました。教育関連の企業に勤めていますが、現在の子どもたちにとって、主体的で対話的な学びの機会が必要だと感じています。私自身、大人になってから大学院に通うなかで「学ぶのって楽しい！」と実感しました。そう！本来、学びって楽しいもののはずなんです。その地域の子みんなを受け入れてもらえる公立小学校で、共に学ぶ喜びを得ることの大切さを発信するうちに、共感してくれる仲間ができ、2022年10月に団体としての活動をスタートしました。



### ● 教育の「失敗」を恐れず、創意工夫していきたい

—現在の活動内容を教えてください

10人前後の中心メンバーと毎週ミーティングをしています。また、全国から共感される方がオンラインで集まり、毎月2〜3回情報共有をしています。

例えば、「やったことないけど、失敗を恐れずにやってみよう」と、文部科学省が提示する『令和の日本型学校教育<sup>※1</sup>』という新しい学びのあり方を取り入れ始めた自治体の取り組みなどをお知らせしています。

名古屋市の公立小学校では、イェナプラン<sup>※2</sup>を導入したり、民間と協働で新たな学びのあり方に挑戦しています。このような先行事例を、多くの方に知ってもらうために、メンバーと一緒に学んで、団体の内外にレポートもしています。さらに、学校が楽しくてしょうがない学びのあり方がどんなものなのかをお伝えしたくて、「みんなの学校<sup>※3</sup>」などの上映会もしています。上映会はこれで3回目ですが、「こういう学校もあるんだ！」「自分から学びとっていってこういうことか」と、共感いただいたことをきっかけに公式LINEに登録いただいて情報交換をするなど、活動の輪が広がっています。

- ※1 令和の日本型学校教育  
全ての児童の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現のための考え方を示したもの(令和3年に中央教育審議会より公表)
- ※2 イェナプラン  
ドイツで1924年に創始された、子ども自身が学習計画を立てて、異年齢のグループで対話しながら学ぶ教育の考え方
- ※3 みんなの学校  
全ての子どもに居場所がある不登校ゼロの学校を地域と一体になって目指す、大阪市立大空小学校の取り組みを取材したドキュメンタリー映画



### ● 先生だけでなく、地域社会みんなで子どもの学びを支えていきたい

—「こうなるといいな」という未来のビジョンは？

夏休み明け、子どもたちがみんな「夏休み早く終わらないかな。早く学校に行きたい！」となる未来が見たいですね。クラスでの学びがどれくらい主体的で対話的かを、子どもが質問に答えていくと客観的な数字で出てくる評価システムがあるので、そのシステムを導入して、子どもが主体的に学ぶこと、対話を通じた協働の学びのあり方を、先生方と一緒に考えていくこともできると思います。先生だけが頑張るのではなく、保護者を含めた地域全体が多様な学びのあり方を受け入れて、地域も一緒に頑張っていく。そんな地域での対話が増えればいいなと思います。



詳しくはこちら ▲

## Nekko to Ohana

22歳までの不登校の子とその家族の居場所づくりを行う「Nekko to Ohana」の活動についてお話を伺いました。



代表/真野 潤子さん(右)  
副代表/錦織 美和さん(左)

### ● 不登校の子とその家族が安心して過ごせる居場所を作りたい

—活動を始めたきっかけは？

真野：10年以上、不登校の子や保護者と関わる仕事をしてきました。不登校が増加する中、公的機関としては個別の支援が難しく、もどかしさを感じていました。退職後、元相談者であるお母さん方の後押しもあり、2023年9月に団体を立ち上げ、子どもと家族が孤立せず自分らしく安心して過ごせる居場所づくりを行うことにしました。

### ● 活動のモットーは「想いをコトバに、願いをカタチに」

—団体名の由来と、現在の活動内容を教えてください

真野：学校に行かない子どもたちも見えないところで根っこ(Nekko)が育っていること、それにハワイ語で「一人じゃないよ、みんながいるよ」という意味のOhanaを合わせて「Nekko to Ohana」と名付けました。

私たちは、子どもや保護者のありのままを受け止めて、安心して想いをコトバにもらえる、そんな居場所づくりをめざしています。

### ● 支援者同士の信頼できるつながりで親子を支える

—「こうなるといいな」という未来のビジョンは？

真野：不登校と呼ばれる子の中には「自分はみんなと同じことができない」と感じてしまう子もいます。そして親は学校に行かなくなった後の将来像が見えない不安から、学校に行かせたい気持ちになる方もあります。「不登校」そのものは悪でもなければ、はずかしいことでもありません。その子にとって安心して過ごせる場が地域にない、見つけれないという社会の問題だと思います。子どもたちを社会とつなげ、社会も子どもたちを知ってほしい。学校を含む支援者同士の信頼できる関係をつくり、その子にあった居場所につなぐなどネットワークで支えられたらと思います。行きしぶりや別室登校など少しでも気になったら気軽に相談してほしいです。

錦織：とにかく真野に会ってほしいです(笑)。きっと気持ちが楽になりますよ。

真野：今後もみんなが必要だと思うことを、ご家族と一緒に作り上げていきたいです。



#### 親の繋がり Believe

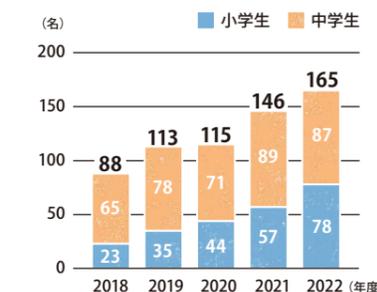
月に一度の親同士のおしゃべり会をはじめ、親睦会やイベント、勉強会など様々な取り組みを行っている。

#### 子どもの居場所 Nekko

**昼ねっこ**  
(週2/10〜15時)  
小中学生が対象。プログラムはなく、自分らしく過ごせる場所になっていて、学習支援も行っている。

**夜ねっこ**  
(毎週水曜日/17〜21時)  
義務教育が終わると相談先がないと言われる状況に対応するために設けた居場所。中3〜22才が対象。

● 池田市の不登校の推移グラフ



(第2次池田市教育振興基本計画の表を元にグラフ化)



詳しくはこちら ▲

# 多世代交流イベント 市民活動交流センター

## Get together 2025

**始 動!**

市民活動交流センター全館を使用し多世代が集い楽しく交流するイベント「Get together 2025」を2025年2月15日(土)に開催することが決定しました!このイベントはコロナ禍が明け、市民活動団体から、そろそろ活動発表や市民・他団体と交流の場を持ちたいとの要望を受けて去年はじめて開催したもので、今回が2回目となります。



マジックショー



おさがり交換会



楽器演奏



演劇

実行委員は企画班と広報班に分かれ開催に向けて動いていきます。第1回実行委員会では、それぞれの自己紹介や前回の振り返り、次回以降のスケジュールの確認などを行いました。その中でイベントの目的やターゲットを明確化するためにキャッチコピーを作ろうということになりました。多様な活動を知り交流を通じて豊かな社会・まちを実現するため皆でアイデアを持ち寄り完成したキャッチフレーズは「池田みんなの発表会」です。



第1回実行委員会



第2回実行委員会

### 前回の様子

#### ステージ

新町だんじり会による大迫力の太鼓演奏からスタート!空手の演武やキッズストリートダンス、楽器演奏、マジックショー、本格的な演劇などが披露されました。



ストリートダンス

#### 作品展示・ワークショップ

子どもや大人向けの工作などのワークショップ、活動紹介のパネルや作品展示と多数の団体が出展しました。フリースペースも普段とはガラッと姿を変えてクワガタの幼虫とのふれあい、おさがり交換会が行われ、オリジナル缶バッジ作りなども人気を博しました。



ワークショップ



### 実行委員メンバー紹介

#### 企画班

**新町だんじり会**【瀧野さん・山本さん】  
今回は演奏だけだったが映像を見てもらうなど工夫をこらしたい。また、参加されている皆さんとコラボが出来ればと思っています。

**手話Link**【中野さん】  
ボランティアを通して池田のまちでも何かできればなと思い参加しました。

**オリオン**【松原さん】  
見に来てくれた方と一緒に楽しめる新しいものを増やしていきたいです。

**はつらつ朗読教室**【宮下さん】  
これを機に横のつながりを作り広くお付き合いをしていきたいです。

#### 広報班

**池田グリーンマルシェ**【神田さん】  
デザインを学んでいるのでデザインの知識を使い役立てたいです。

**親子で学べるお金の学校**【大田さん】  
池田に来てまだ日が浅いが皆様と知り合いになって池田のまちをより深く知っていききたいです。

**まち衆ネットにぎわい座**【谷本さん】  
普段、交流センターのスタッフにお世話になっているので何かお返しできればと思っています。

**人形劇ねこじやらし**【吉田さん】  
皆さんとあまりつながりがなかったのでお知り合いになれたらいいなと思って参加しました。



クワガタの幼虫ふれあい

出演・出展者も様々な趣向を凝らしてくれた結果、小さなお子様から高齢者まで多世代にわたって楽しめるイベントになり300名を超える方に来場いただけました。来場者アンケートにも「とてもよかった」のシールがたくさんはられていました。出演・出展団体からも「自分たちの活動に共感いただけた」、「色んな活動があることが分かった」、「他団体と交流できた」など好評で参加されたすべての団体からイベントの継続を希望する声があがりました。

実行委員会では前回の良かった点は残しつつも更なる集客や分かりやすい会場作りをめざし、新たに発案する企画で来場する方、出演・出展される方が更に楽しみ交流が行える様にすすめていきます。

2025年2月15日はぜひ新しい発見や出会いが得られる市民活動交流センターにお越しいただき楽しんでいただければと思います。また、ステージ出演、作品展示やワークショップで参加したい団体も募集中ですので交流センターにお問合せください。



参加申し込みはこちら▲

#### パネル展示

